

平川市 ごみ減量化大作戦 ③

市では、第2次ごみ処理基本計画を策定し「循環型社会」の形成を目指した取組を進めています。11月号では各家庭での具体的な取組方法についてお知らせしましたが、今月は資源物が回収されてからリサイクルされるまでの仕組みをご紹介します。

回収された資源物の行方は？

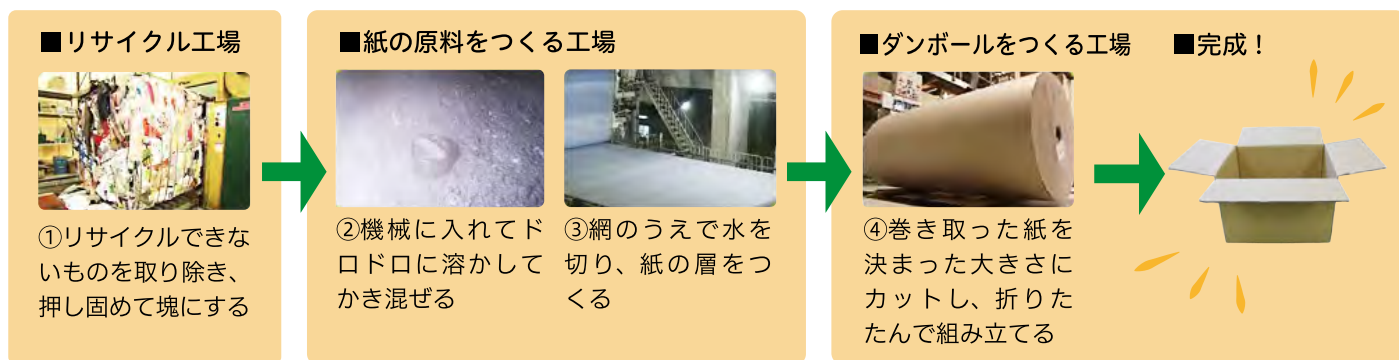
皆さんが分別して出したダンボールや紙パック、容器包装プラスチックは、いったいどのような処理をされて、何に生まれ変わるのでしょうか？

市でリサイクル量が多い2つの資源物について紹介します。

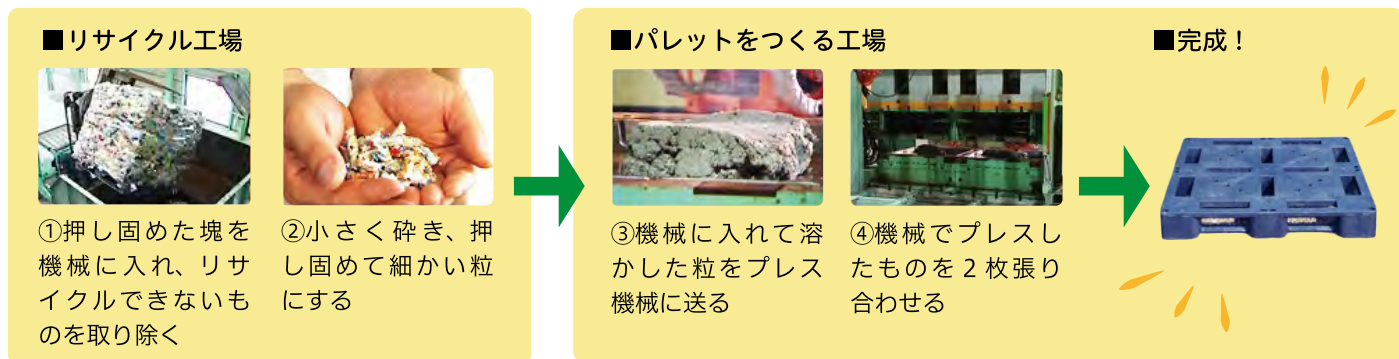


「再資源化量」 合計 623トン	
紙類	292トン
包装容器プラスチック	119トン
びん	97トン
ペットボトル	60トン
缶	55トン
(令和元年度実績)	

1. 紙類→ダンボールへ生まれ変わる場合



2. 包装容器プラスチック→パレットへ生まれ変わる場合



(出典元：日本容器包装リサイクル協会)

食品ロスを減らしましょう

食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことです。日本では年間2,531万トン(※¹)の食品廃棄物などが出されています。このうち、まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は600万トン(※²)にもなります。

また、食品ロスを国民1人当たりで換算すると「お茶碗約1杯分」の食べ物が毎日捨てられていることとなります。食品ロスの問題を知って、削減のためできることから始めましょう。

※¹…農林水産省「食品ロス量(平成30年度推計値)の公表について」

※²…環境省「我が国の食品廃棄物等及び食品ロスの発生量の推計値(平成30年度)の公表について」

すぐに食べる食品は陳列順に(手前から)取りましょう。



食材は必要な分だけ買いましょう。(買いものリストをつくと無駄な買い物を減らせます♪)

【問合せ】 市民課 環境衛生係 ☎44-1111 (内線1226)